

G36

セルフ電源トータルカウンタ・
レートメータ

- 文字高 11mmφの大型 LCDを採用
- カウントスピードは 10kHz
- プリスケール機能付
- 小数点位置指定機能付
- 書き込み機能付
- フロントパネルは防塵防滴構造



■ 形式

形式	種類	入力方式	入力種類	表示桁数	プリスケール
G36-101 ※	トータルカウンタ	加算入力	有接点、オープンコレクタ入力 / 無接点電圧入力	8	×
102 ※		90°位相差入力	無接点電圧入力		○
103 ※		加算減算個別入力	有接点、オープンコレクタ入力		○
104			無接点電圧入力		○
201 ※	レートメータ	1 入力	有接点、オープンコレクタ入力 / 無接点電圧入力	4/5※ ¹	○
301 ※	トータルカウンタ / レートメータ	1 入力	有接点、オープンコレクタ入力 / 無接点電圧入力	トータルカウンタ 8 レートメータ 4/5※ ¹	○

※印の付いている形式は販売終了しております (G36シリーズは全て販売終了の予定です)

■ 仕様

形式	G 36-101	G 36-102	G 36-103	G 36-104	G 36-201	G 36-301
機種	トータルカウンタ				レートメータ	トータルカウンタ/レートメータ
表示桁数	8桁LCD (G 36-102～104は0より減算時には7桁表示で、最上位の8桁目はマイナスを表示します)				4/5桁LCD※1	トータルカウンタ8桁 レートメータ4/5桁LCD※1
計数(計測)方式	加算カウント	加減算カウント 90°位相差入力	加減算カウント	加算減算個別入力	レート測定	加算カウント/レート測定
入力種類	有接点、オープンコレクタ入力 無接点電圧入力	無接点電圧入力	有接点オープンコレクタ入力	無接点電圧入力	有接点、オープンコレクタ入力 無接点電圧入力	
計数(計測)入力	有接点入力：リレー、マイクロスイッチ、オープンコレクタ入力 無接点電圧入力：“L” 0～0.5VDC “H” 2V～15VDC					
計数速度	有接点、オープンコレクタ入力：25Hz 無接点電圧入力：10kHz					
パルス幅	有接点、オープンコレクタ入力：ON/OFF共 20ms 無接点電圧入力：ON/OFF共 50μs					
リセット	押ボタンリセット（フロントリセット）、リモートリセット				—	押しボタンリセット、リモートリセット
電池寿命	5年（25℃にて連続動作時）					
電源	セルフ電源（3Vリチウムバッテリー内蔵） 交換用バッテリーは松下電池製 BR2/3A 富士電気化学製 CR2/38L(N2)をご使用ください。※2					
プリスケール	—	0.0001～100.0000			0.001～9999	トータル0.0001～100.0000 レートメータ0.001～9999
小数点位置設定	—	4箇所または表示なし			3箇所または表示なし	トータルカウンタ 箇所または表示なし レートメータ 箇所または表示なし
レートメータ仕様	—				精度：±0.2% 表示更新時間：0.7s min ゼロタイム：10s固定	
接続端子	M3ネジ端子					
防塵防滴構造	表面パネルは防塵防滴構造（付属のガスケット使用時）					
使用温度範囲	-5～+40℃ 但し氷結しないこと					
仕様湿度範囲	45～85% RH					
重量	約65g					

※¹ 計測表示は通常4桁です。プログラムモードのレートメータ用10倍表示選択にて×10に設定した場合は、1桁目が0固定の5桁表示になります。

※² 交換用バッテリーは弊社でも用意しています。

■ 操作方法

トータルカウンタ G36-101, 102, 103, 104



プリスケールなし G36-101
端子⑤と①をリード線等で短絡することにより、フロントリセットが有効となります。フロントリセットを禁止したいときは端子⑤と①を開放してご使用ください。



プリスケールつき
G36-102, 103, 104
プログラムを行なう場合は端子⑤と①をリード線等で短絡してください。すべての設定を完了後、端子⑤と①を開放することによって設定値がメモリされ表示は計測モードに戻ります。

■ キーの機能（プリスケールつき、G36-102, 103, 104）

操作キー	プログラムモード（端子①と⑤を短絡）	計測モード（端子①と⑤を開放）
	キーを押す毎に桁の点滅が右から左へシフト（移動）します。キーを押したままの時にはオートスクロール（自動送り）されます。	未使用
	キーを押す毎に設定桁の数値が増数します。 また、小数点位置指定時に小数点の位置を移動させます。	トータルカウント値をリセットします。
 + 	プリスケール値の設定 小数点位置指定 書き込み表示 フロントリセットの有効/無効の指示	未使用

■ プログラム方法（プリスケールつき G36-102, 103, 104）

プログラム	プログラムスクリーン	設定方法
プリスケール設定		プリスケール設定表示にしてから、 キーで入力したい桁を選び、 キーで数値をセットします。
小数点位置指定		プログラムモードの小数点位置指定表示を出してから、 キーで小数点位置を指定します。
書き込み		書き込み表示にしてから、 キーにて入力したい桁を選び キーにて数値を入力します。 リセットをかけたときに、表示が書き込み設定をした数値に戻ります。
フロントリセット機能の選択		キーを押す毎に $\bar{R}$ （フロントリセット可能な表示）と $no\bar{R}$ （フロントリセット不可の表示）が交互に切り替わります。

■ 操作方法

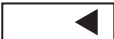
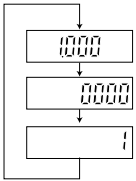
レートメータ

G36-201



プログラムを行なう場合は、端子⑤と端子①をリード線等で短絡してください。
すべての設定を完了後、端子⑤と①を開放することによって設定値がメモリされ、
表示は計測モードに戻ります。

■ キーの機能

操作キー	プログラムモード（端子①と⑤を短絡）	計測モード（端子①と⑤を開放）
	キーを押す毎に桁の点滅が右から左へシフト（移動）します。キーを押したままの時はオートスクロール機能により自動的に桁の点滅がシフトします。	未使用
	キーを押す毎に設定する桁の数値が増加します。 キーを押したままのときはオートスクロール機能により自動的に数値が増加します。またレートの10倍表示の選択を行ないます。	未使用
  	プログラムスクリーンを指示します。  キーを押したまま  キーを押す毎にプログラムスクリーンが切り換わります。  プリスケールの小数点とプリスケール値入力 計数表示の小数点位置指定 10倍表示の選択	未使用

■ プログラム方法

プログラム	プログラムスクリーン	設定方法
レートメータ用 プリスケール 設定	 	● レートのプリスケール値を入力する前にプリスケールの小数点位置を設定します。  キーにて表示右端に  を表示させます。 その状態で  キーを使用し小数点位置を指示します。 ●  キーにてプリスケール値を入力したい桁を選び、 キーにて数値をセットします。
レートメータ用 小数点位置 指定		●  キーにより計測表示の小数点位置を指示します。
レートメータ用 10倍表示選択		● レートメータ用の10倍表示の選択をします。  キーで×1か×10かを指示します。 ×10の時の計測表示は1桁目の数値が0で固定されて表示します。

■ 操作方法

トータルカウンタ/レートメータ G36-301



トータル表示

↔



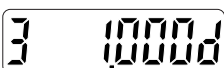
レート表示

プログラムを行なう場合は、プログラム端子⑤とGND端子①をリード線等で短絡してください。すべての設定を完了後、端子⑤と①を開放することによって設定値がメモリされ、表示は計測モードに戻ります。トータルカウンタ表示とレート表示の切り替えは、**T/R ◀** キイにて行ないます。

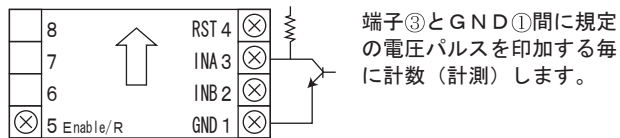
■ キイの機能

操作キイ	プログラムモード（端子①と⑤を短絡）	計測モード（端子①と⑤を開放）
T/R ◀	キイを押す毎に桁の点滅が右から左へシフト（移動）します。キイを押したままの時はオートスクロール機能により自動的に桁の点滅がシフトします。	トータルカウント表示とレート表示を切り替えます。 RST ▲ キイを押す毎に計測表示が交互に切り換わります。
RST ▲	キイを押す毎に設定する桁の数値が増加します。 キイを押したままのときはオートスクロール機能により自動的に数値が増加します。また、カウンタのフロントリセット動作の有効/無効の指示やレートの10倍表示の選択を行ないます	トータルカウント値をリセットします。
T/R ◀ + RST ▲	プログラムスクリーンNo. 1～No. 6を指示します。 T/R ◀ キイを押したまま RST ▲ キイを押す毎にプログラムスクリーンが1, 2, 3, …と順次切り換わります。	未使用

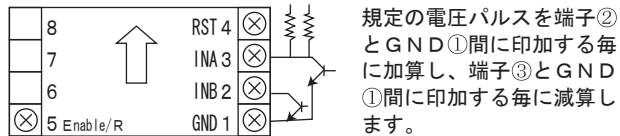
■ プログラム方法

プログラムNo.	プログラムスクリーン	設定方法
1 トータルカウンタ用 プリスケール 設定	プログラムNo. プログラム内容 	● T/R ◀ キイにて設定したい桁を指示します。 キイを押す毎に桁の点滅が右から左に移動します。 ● RST ▲ キイにて点滅している桁の設定を行ないます。
2 トータルカウンタ用 小数点位置 指定		● RST ▲ キイにて小数点の位置を指示します。
3 レートメータ用 プリスケール 設定	 	● レートのプリスケール値を入力する前にプリスケールの小数点位置を設定します。 T/R ◀ キイにて表示右端に  を表示させます。 その状態で RST ▲ キイを使用し小数点位置を指示します。 ● T/R ◀ キイにて入力したい桁を選び、 RST ▲ キイにて数値をセットします。
4 レートメータ用 小数点位置 指定		● RST ▲ キイにより計測表示の小数点位置を指示します。
5 レートメータ用 10倍表示 選択		● レートメータ用の10倍表示の選択をします。 RST ▲ キイで×1か×10かを指示します。 ×10の時の計測表示は1桁目の数値が0で固定されて表示します。
6 トータルカウンタ用 フロントリセット 機能の選択		● フロントリセットを有効にするか無効にするかの選択をします。 指示は RST ▲ キイを使用します。 R はフロントリセットキイ有効、 noR はフロントリセットキイを無効にします。

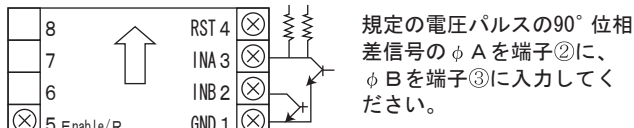
加算入力(無接点電圧入力) G36-101, 201, 301



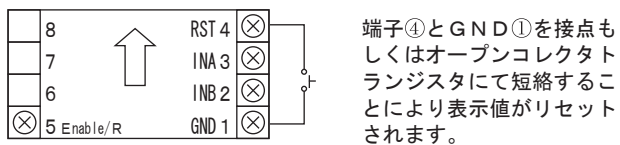
加算減算個別入力(無接点電圧入力) G36-104



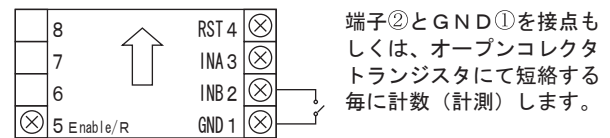
90°位相差信号入力(無接点電圧入力) G36-102



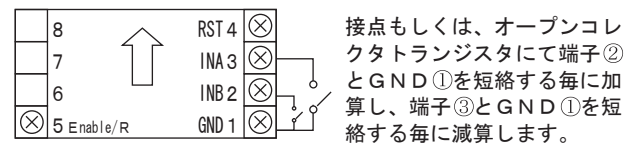
リセット G36-201を除く全機種



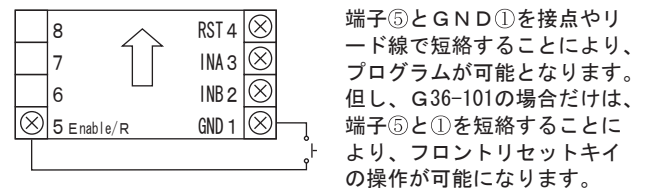
加算入力(有接点、オープンコレクタ入力) G36-101, 201, 301



加算減算個別入力(有接点、オープンコレクタ入力) G36-103



プログラム G36-101を除く全機種



■ プリスケールの説明

プリスケール機能は、入力パルスと表示の比率を自由にセットできる機能で、長さや流量等の単位換算、または回転数、流速等の測定単位を自由にセットすることができます。

<トータルカウンタ>

プリスケール設定範囲：0.0001~99.9999
(0.0000のセットは100)

プリスケール計算式：
$$PS = \frac{DPF}{PPR}$$

P S = プリスケール値
DPF = 表示の小数点位置

× × . × × × ×	1
× × × × × . ×	10
× × × × . × ×	100
× × × . × × ×	1000
× × . × × × ×	10000

PPR = 単位あたり (mm、m1回転等) のセンサからの出力パルス数

(設定例) コンベアが1m移動する毎に20パルスを出すセンサを用いて1/10m単位でカウント表示させるときのプリスケール値は下記ようになります。(小数点は×××××.×にセット)

・
$$PS = \frac{10}{20} = 0.5000$$

<レートメータ>

プリスケール設定範囲：0.001~9999
(ゼロのセットは不可)

プリスケール計算式：
$$PS = \frac{SEC \times DPF}{PPR}$$

P S = プリスケール値
DPF = 表示の小数点位置

× × × ×	1
× × × . ×	10
× × . × ×	100
× . × × ×	1000

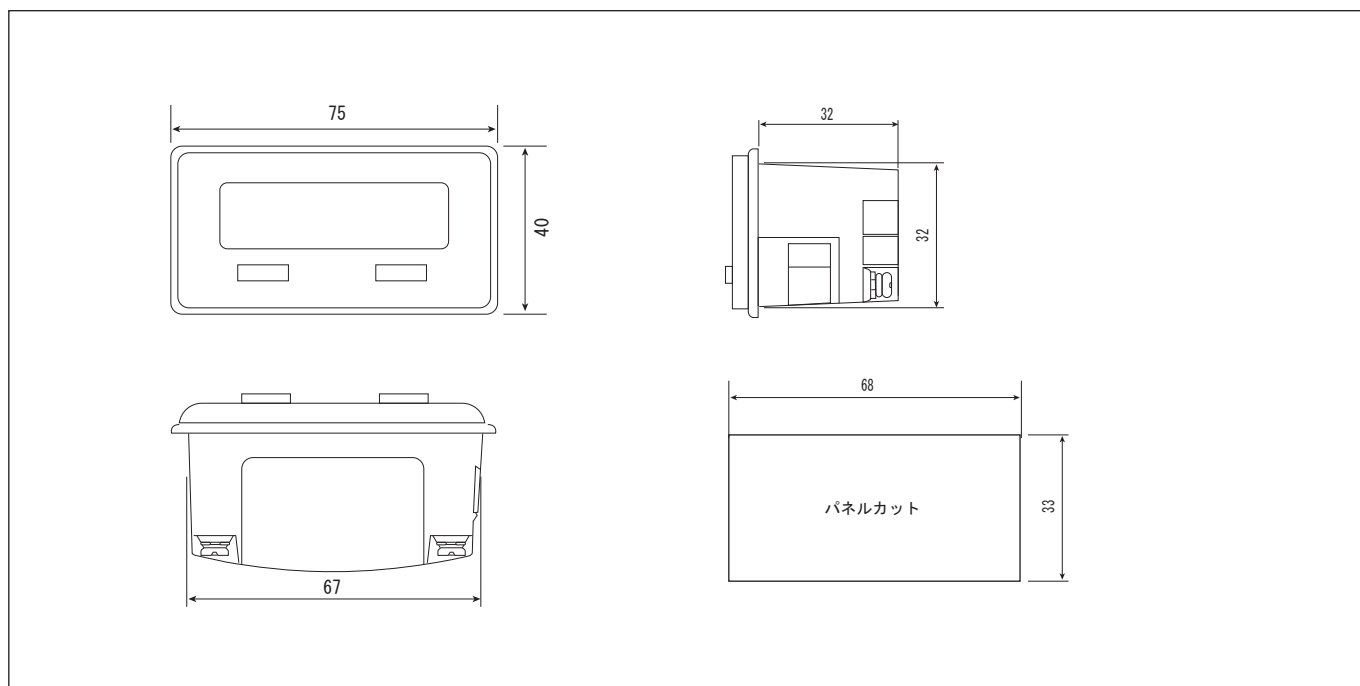
PPR = 単位あたり (mm、m1回転等) のセンサからの出力パルス数

SEC = レート表示の単位 (時間) です。(毎分=60、毎時=3600、等)

(設定例) 電線が1m送られるごとにセンサから1パルス出力されます。表示は毎分の送り量を表示させます。(小数点はなし)

$$PS = \frac{60 \times 1}{1} = 60.00$$

■ 外形寸法図



本社・東京営業所 〒152-0001 東京都目黒区中央町2-37-7
 TEL03-3716-5151(代) * FAX03-3710-4552
 大阪営業所 〒550-0015 大阪市西区南堀江4-30-16
 TEL06-6538-0365(代) * FAX06-6538-0315
 URL: <http://www.line.co.jp>